

## 巻 頭 言

2015年度から、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「ESDによる地域創生の評価とESD地域創生拠点の形成に関する研究」（研究代表者・阿部治）を実施しています。本研究プロジェクトのテーマのひとつに「ESD地域創生拠点の形成」を掲げていますが、その中で重要な位置を占めるのが、日本国内の自治体との連携です。

2016年度に、本研究プロジェクトの母体である立教大学ESD研究所は、三か所の自治体（長崎県対馬市、北海道羅臼町、静岡県西伊豆町）との間にESD研究連携に関する覚書を締結し、ESDを通じた地域創生の可能性について実証研究を行ってきました。幸いにも各自治体の方々のご理解とご協力を得て、学生によるアクションリサーチや自治体間の合同研究会といった取り組みを実施してきました。そうした活動の一部は、本報告書にレポートや論考等を掲載しております。それらは今後も継続し、また検証を重ねていくことで、さまざまな効果が得られるものと期待しております。2017年度には、新たに長野県飯田市に加わっていただくことになり、覚書締結自治体は四か所に増えました。各自治体で行うアクションリサーチの比較検討、自治体間の交流など、私どもと一つ一つの自治体がつながるだけでなく、自治体同士のつながりも含めた連携をめざしていきたいと考えています。

本報告書は、2017年度に実施した、各覚書締結自治体と立教大学ESD研究所との連携による取り組みの一部をまとめたものです。ESDによる地域創生の可能性は、どこに見いだせるのか、今後も多様な実践・研究活動を展開していく所存ですので、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

末筆ながら、各自治体の皆様をはじめ、本研究プロジェクトの遂行に際し、ひとかたならぬご厚情を賜った皆様に厚く御礼申し上げます。

2018年3月  
研究代表者 阿部 治